

344) 愛しているよ

君に出逢ったこの喜びを 僕は生涯忘れはしない
エレベーターで出逢ったときの あの日の君は美しかった
君の瞳は夢を見ている 少女のように輝いていた
あれから僕は心の奥で 君のことだけ愛していたよ

きまぐれじゃない僕は本気で 君のことだけ愛しているよ
だからあのとき心の底を えぐられるほど辛かったんだ
愛を語らう言葉と絶えて 心触れ合う^{とき}時間がなくなる
それでも僕は君のことだけ 愛しているよ愛しているよ

君への愛を確かめたくて ^{ふるさと}故郷に行く汽車に飛び乗る
ゴトンゴトンとレールの継ぎ目 越える響きが心に刺さる
窓に写った自分の顔が 闇の向こうで僕を見ている
やっぱり僕は君のことだけ 愛しているよ愛しているよ

君と別れるこの苦しみを 僕は生涯忘れはしない
^{としがい}年甲斐もなく夢中になって 最後の愛が^{くだ}砕け散るとき
もういちどだけ君に逢いたい 素直になって君に言いたい
今でも君を愛しているよ いつも遠くで見つめていると